

未来

筆者は、生徒会長の3年山口桃佳さん
令和2年12月23日 第11号

新型コロナウイルス感染症により、日本中、世界中が前例のない困難に直面しています。

このような時にでも郡山第一中学校生徒一人一人が、夢や未来に向かって「あきらめない」との強い思いを抱き、進路実現を果たしてほしいとの願いがあります。「未来をあきらめない」「未来は変えられる」

文責 校長 宗形 俊二

2 学期が終了 終業式において

今年も残すところ一週間余りとなりました。学校は、本日で2学期が終了となります。

終業式も「三密」を回避するために、放送による式となりました。そこで私から次のようなことを話しましたので、概要を紹介します。

今年の流行語年間大賞は「三密」、今年の世相を占う漢字一字は「密」ということで、まさに、新型コロナウイルス感染症に始まった一年でありました。私たちは、この感染症の影響で生活が一変し、これまで経験したことのない不便で窮屈な生活となってしまいました。

そのような中、今学期は体育祭、合唱コンクールを含めた開桜祭、そして、修学旅行や学習旅行など、規模を縮小してではありましたが、実施できたことは、皆さんと共に喜びたいと思いますし、中学校生活の思い出の一ページとして心に刻むことができたことと思います。これもひとえに、保護者の皆様のご理解とご支援はもとより、何よりも皆さん一人一人が、新しい生活様式を守り、自覚と責任ある行動を心がけ、一生懸命学校生活を送ってくれたお陰です。本当に生徒の皆さんには感謝をいたしますし、皆さんを誇りに思います。「ありがとう」

いよいよ明日から冬休みに入りますが、これからも新しい生活様式に基づく生活を心がけ、毎日の検温や手洗い、うがい、換気、そして不要不急の外出を避けるなど、私たちは気を緩めるとなく危機感を持って生活していかなければなりません。家で過ごす時間が長くなるかと思いますが、一日24時間という平等に与えられた時間を大切に有意義な冬休みを過ごして下さい。

特に3年生にとっては、進路実現に向けてのラストスパートです。もう一段ギアをあげて、ひと踏ん張りです。3年生一人一人が進路実現できるよう心から期待しています。

来る年がみなさんにとって輝かしい年になることを祈っています。

「感謝」今年1年大変お世話になりました。

今年1年、PTA役員の皆様はじめ保護者の皆様には、コロナ禍の中において、本校の教育活動に多大なるご理解とご支援、ご協力を賜り心から感謝を申し上げます。お陰様で、「明日が見えない」、そのような状況の中ではありましたが、子どもたちの健康・安全そして命を守ることを最優先に考え、「郡山一中のすべての子どもたちにハピネスを提供できれば」との思いで、PTA会長様はじめ役員の皆様、教職員等で知恵を出し合い議論を交わし、「何ができるか、何をすべきか等」を考え、「想いを形に」してきたところでした。結果的には、1学期は何もできなかった中で、2学期は体育祭、合唱コンクール、修学・学習旅行等の学校行事が規模縮小しての実施ではありましたが、できたことを大変うれしく思います。新型コロナウイルス感染症の終息までには時間が要することと思いますが、今後も保護者の皆様のご理解とご協力等を賜りながら、この難局を乗り越えていきたいと考えております。引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。【良いお年をお迎えください。】